

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	TANK		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル	
RG	2.480	$\Delta$ RG	0.034	●ピン	★PAP	✕CG	■バランスホール

**テストボール：TANK**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

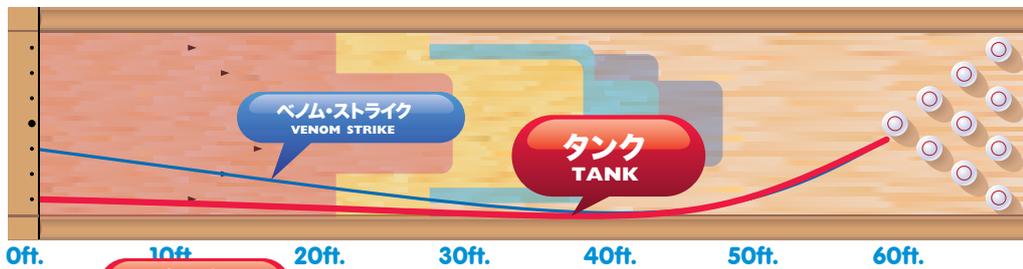
**比較対照ボール：VENOM STRIKE**

フレアーの幅  インチ

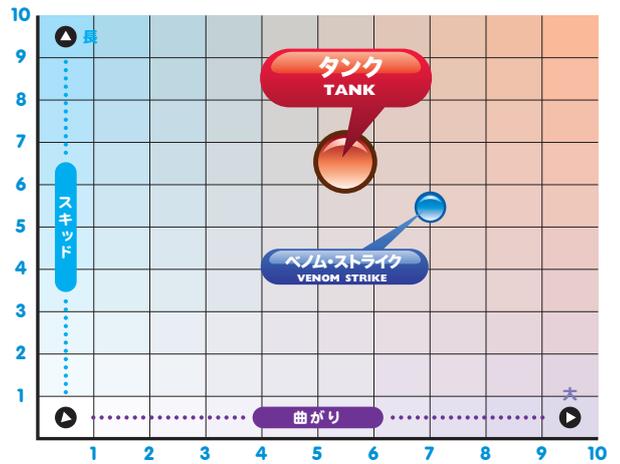
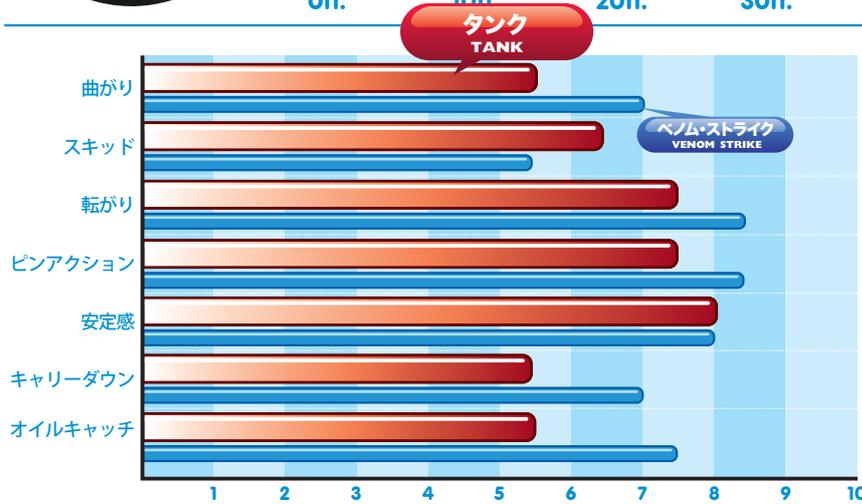
PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

以前にも増してウレタンボールが普及したのは、「必要とする」コンディションが増え、現代のカバーストックが高性能過ぎることで、以前よりよりドライなコンディションに不向きになったこと。またそういうボールに慣れてしまったからこそ、回転を加えながらスピードで押し切るパワーや技術もPBAから比べ不足していることも直視しなければなりません。しかしその一方でウレタン素材のボールを駆使することで投球ラインに幅を感じたり、相応の技量をえられることは無視できず、キャッチの弱いリアクティブの存在が少ない現状から踏まえると、候補から外すこともできないツールとして考えなければなりません。

TANKを投げたイメージでは、数値上特別にRGが低く $\Delta$ RGが高いわけでもないのですが、良いイメージで手前からの転がりを感じることができます。またウレタンの特性からフレア幅と関連が大きい $\Delta$ RGの数値も低いほうなのですが、約3inほどのフレア幅を得ることができます。考えられるのはこのTANKに使用されているBallistix Urethaneが非常に上質なウレタン素材で、VENOMシリーズやGT1に採用されているGearコアとのマッチングで「滑らかな予測性の高い軌道」を発揮できているのだと思います。ウレタン素材の独特な滑らかな運動なので、こういう性能なら摩擦を大きく感じてしまうコンディションで、より高い回転率を持つ競技ボウラーはより高い利益を得ることができるでしょう。

独特な配色でユニークなMOTIVのTNAKは今回は迷彩色。人と違うボールを持ちたいという拘りでもこのTANKはおススメできます。

### 特記事項

**MOTIV初となるウレタン素材のTANK。**  
 滑らかな運動の中にもMOTIV社イズムを感じる、ライトなコンディションに特化したボールです。